

第2回 周南市まちづくり総合計画審議会
会 議 録

日時：平成21年6月19日（金）
場所：周南市文化会館 練習室1

【会 議 次 第】

1 開 会

2 議 事

(1) 「周南市まちづくり総合計画 後期基本計画（素案）」について

(2) 部会の設置について

3 閉 会

第2回 周南市まちづくり総合計画審議会 会議録

日時 平成21年6月19日(金) 午前10時～

場所 周南市文化会館 練習室1

出席者 ・委員 32名(欠席4名)

江草 志眞、堀家 まき、原田 浩樹、向谷 静波、水谷 潔、
山崎 治人、藤本 絹枝、岸本 洋子、佐々木 哲子、有國 美恵子、
堀本 明、温品 浩、廣澤 和己、藤村 富雄、松田 富雄
高松 郁夫、重永 つゆ子、原田 常代、中村 俊孝、吉谷川 亮
丸山 和之、一原 英樹、杉光 英俊、和田 崇、古田 健一
小川 仁志、木原 陽一郎、桑嶋 ゆり子、三分一 幸治、棚田 敬治
戸倉 誠土、平岡 勝成

・事務局 9名

手山企画総務部長、原田企画総務部次長、中村企画課長、原田課長補佐、
亀割、有馬、菅田、福田、吉村

資料 周南市まちづくり総合計画 後期基本計画(素案)

周南市まちづくり総合計画審議会 部会構成(資料1)

後期基本計画(素案)の「第3章 分野別計画」に関する意見・提案等(参考
様式)

後期基本計画(素案)体系図(資料2)

後期基本計画策定スケジュール(資料3)

審議会座席表

後期基本計画(素案)の用語説明の追加等

審議会への諮問書の写し

市債発行額等の推移

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ（企画総務部長）

周南市まちづくり基本計画は、市における最上位の計画であり、自治体全ての計画の基本となる基本中の基本の計画です。

後期基本計画は、22年度から、来年度からの5か年の計画となります。

それぞれの分野で御活躍いただいている皆様方に、それぞれの立場での積極的な意見を賜り、よりよい計画を構築したいと思っています。

今後は、この審議会を各部に構成し直し御審議いただいた後、審議会として最終的に素案に対する意見をとりまとめ、8月の下旬には答申をお願いしたいと考えています。

大変過密なスケジュールになりますが、皆様方の御協力、御支援、重ねてお願いいたします。本日は、どうもありがとうございます。

4 議 事

（1）「周南市まちづくり総合計画 後期基本計画（素案）」について

事務局 周南市まちづくり総合計画 後期基本計画（素案）に沿って説明

議長 1章、2章につきまして、何か皆様お気づきの点、御質問等ございましたらお願いします。

委員 資料2の体系図が、非常に複雑になっているような感じがします。普通は、目標があって、基本方針、柱、基本施策というふうにどんどん具体的になっていくイメージだと思いますが、それが入り組んでいたり、つながっていなかったりしていてわかりにくいので、順番に展開していく形でうまくつながるような表現にできないかと思います。

それから、基本方針の2つ目の自助・共助・公助についてですが、ここでは、自助を幅広く多様な市民ということで捉えていて、例えばコミュニティといった団体も自助になっています。それは共助にあてはまるのではないかと思います。自助・共助の考え方の確認をお願いします。

事務局 体系図については、基本施策の中で、重点的に市として取り組んでいきたいということをもとに頭出ししていますので、こういう構成の仕方になっています。もっといい組み立て方があればそういった御意見をいただきたいと思っています。

議長 これについては、事務局の方でも、もう少し明解になるような形がとれれ

- 委員 ば御検討いただいて再提案をお願いをすることではいかがでしょうか。安心立市とか人財立市などのおもしろい表現、コンセプトが5つできていますので、こういうものを柱にしてそこに各基本施策をぶらさげるような形がわかりやすいと思います。せっかくの5つの柱ですから、これをうまく生かしたらどうかと思います。
- 事務局 自助・共助・公助についてですが、私どもは市民といった定義を、団体とか企業、教育機関まで含めて捉えています。自助・共助というのは非常にあいまい部分もありますので、この辺の表現の仕方についてもいい御意見があればいただきたいと思います。
- 議長 これについては、現時点では一応この形で進めさせていただいて、問題が出てくるようであれば修正を加えていただくということではいかがでしょうか。それでは、次の質問にいきたいと思います。
- 委員 体系図の作り方ですが、重点推進項目から基本施策のところ、上から下に矢印が書いてありますけど、下から上にあがっていく方がいいのではないかと思います。
- 議長 その辺は、これからもう一回検討していただくということで、お願いします。他にございませんか。
- 委員 4月に市長は、重点項目の推進ということで、5項目あげられています。周南再生に向けた戦略、安心・安全の実現、子どもを育てる環境の整備、環境立市への取り組みの推進、市民と行政の協働の推進、という5つの重点項目ですが、今回の重点推進項目との関係はどうなっているのでしょうか。
- 事務局 市長の方針ということですが、基本的にはこの中で、安心、環境、協働といったものは網羅しています。
- 議長 他にございませんか。
- 委員 今後一番大事なものは、5年、10年後にこの市の環境がどうなっているかということです。少子高齢化と言っておられますが、10年後には高齢化率がどれくらいなっていて、それに対して市は積極的にどうするかということが、これからは全く読めません。それから、アンケートをあまりにも多用しすぎています。市は、行政としてこういうことをやりたいんだという姿勢がこれからは読めないと思います。今日いただいた市債発行額の推移の数字も、安易に出されているような気がしています。
- 議長 事務局の方いかがでしょうか。
- 事務局 現状と課題の部分にそういった内容の記載が、不足しているということだと思いますので、それはまた各部会において、御指摘をいただきたいと思います。
- 議長 各施策の具体的な内容について、考えていく時には今御質問にあったような個々の数値が必要になるかと思いますが、個々の施策を考えるときに

は、必要な数値をお出しいただくということで進めさせていただきたいと思います。次に他の質問ございませんか。

委員 今の段階で、名称が検討中ということですが、総合計画10年間の後期5年間の計画ということで、前期の施策の状況を勘案しながら、これからの時代に合わせて調整をしていくのは当然のことだと思いますが、名称まで全部変えなければいけないのでしょうか。

事務局 基本構想については、ひと・輝きプラン周南という名称がついています。今回の後期基本計画は、施策を実際に展開していくという実際に行動する5年間の計画となりますので、その思いをアピールするという意味で名称を作ったらどうかと考えています。

議長 今の委員さんの方からの御意見も念頭に入れて、名称について検討をお願いします。他にはございませんか。

委員 基本方針が、今3つあがっていますが、その表現のレベルがバラバラという感じがします。例えば自助・共助とか、選択と集中というようなことは、ひとつの手段であって、私は基本方針として、まちづくりに対する強いメッセージ、具体的なメッセージを入れるのかと思っていましたが、少しイメージが違っていました。

事務局 この基本方針は、市長がこの5年間の業務的なメッセージを発するというイメージで作っています。安心安全、いのち最優先とか、自助・共助・公助であれば、自分たちが、まず、自分たちがまずやるんだと、自分ひとりできないときは、みなぎ協力してやるんだと、どうしてもできないときは、行政が助けるんだというメッセージが入っています。

委員 3点あるのですが、1点目は計画の名称についてです。素案の2ページに「まちとしての質を高めながら」という記載がありますが、この質が何かということについて、審議の中で、「ひと・輝きプラン」といったイメージで合意ができてくれれば変えなくていいし、違う質を求めようということであれば変更する必要があるかと思います。

2点目は、体系図の中山間地域の振興で、『多用な主体の知恵と力の結集により創発する「人・自然・経済が循環する活力溢れる中山間地域」の実現』と書いてありますが、これは中山間地域のことだけでなく、市全体の方針として、このような方針がもっと上に出てくれればわかりやすくなるかと思いますので、皆さんで検討していけたらと思います。

3点目は、自助・共助・公助ということで、まずアイ・キャンが先にあってあとサポートがあるとすれば、計画書全体の「何々します」、「何々進めます」といった文章の主語が、市民なのかコミュニティなのか、あるいは行政なのかということだといふニュアンスが変わってくるかと思います。そういうことを意識しながら、今後検討が進められたらと思います。

議長 こういった御意見を踏まえて今後内容的にも検討させていただきたいと思います。

- 委員 重点項目の中に中山間地域の振興というのがあがっていますが、中山間地域においては、高校生の通学費用の負担に関する問題があります。高校生が2人いたら、学校に通うのに1ヶ月55,000円の費用がかかるといった事情を抱えている御家庭がありますが、それに対して全く助成がないのが現状です。そういう次世代を担う若者をどういうふうに支援していくのかということを中心項目の中に入れていいのではないかと思います。
- 議長 中山間地域が抱えている問題点の中でいくつかの重点があると思いますが、こういったことも含めて事務局の方に検討をお願いしたいと思います。他にございませんか。
- 委員 中山間地域では集落を維持しがたくなったり、集落が消えかけているといった現状があります。26年度の数値目標があるのであれば、26年度にはこの集落ではこういうふうになっていくという数値目標の資料を示しながら、自助・共助はどこまでできて、公助はどうするのかというまでを踏み込んでいただかないとなかなか中山間地域の現状の打破はできません。現実をみんなに共有してもらうためには、数字を出していただく必要があると思いますので、その辺の資料の提供もお願いします。
- 議長 この辺は、かなり推計するものが出ていないのではないかと思いますので、必要ならそのときにお出しいただくということで、他にございませんでしょうか。それでは、次の4章、計画推進のための方策について御意見をお願いします。
- 委員 152ページの効率的な行政運営で、前期基本計画の実績・評価ということですが、行政サイドの評価が全然見えないので、総括したような形でここに載せる必要があるかと思います。
- 事務局 市では事務事業評価ということで、個別の事業について毎年評価をしています。ここでは、そういった個別の評価ではなくて、事業をひとくくりにした施策についての評価を行っています。
- 委員 それぞれの施策に書いてあるのは、「こうしました」、「こうしました」という内容のものです。それを評価したときにどうなのかということが全然見えないのですが、いかがでしょうか。
- 議長 確かに評価そのものの実績は示されていないので、今後、基本計画の審議を進めるにあたって必要であれば出してもらうということで、そうでなければその都度、事務局に伺いながら審議を進めていただきたいと思います。
- 委員 計画推進のための方策と言われるけれども、具体的な将来展望が見えない感じがします。具体的にはっきりとこんなまちづくりをめざしているということが示されていないし、人口の変化が、ここには推測されていません。工業都市として歩むのか、何をもって歩むのかというビジョンというものが入っていないように思われます。
- それから少子化対策と言われますが、まちづくりにおいても、命の尊厳性

といった点をよく考えて、お互いが助け合いながら、この周南市でどう生き生きと生きるかということ、前提に考えていくべきだと思います。

議長 他にございますか。

委員 推進するための方策ということで、私は携わる市の職員の方に、この後期基本計画の5年間は、継続性を持って事業をやり遂げていただきたいという思いを持っています。

議長 御意見として受け止めていただければと思います。

委員 前期5年間の事業計画の中で、中断とか未着手の事業、あるいは検討中、または完了した事業もあります。今回の資料作成にあたって、なぜこれが未着手になったのか、できなかったのか、あるいは、これはよくできたというふうな分析結果をどのように捉えられて、後期5年間に臨もうとされているのか、一番前期で苦労された点というのはどのようなことだったのかお聞きします。

議長 それに対しては、たぶん簡単には説明ができないかと思しますので、これまた改めてということにさせていただいて、部会の方に入るということで御了承いただきたいのですが、よろしいでしょうか。

(拍 手)

議長 ありがとうございます。それでは、全体的な件については、これをもちまして終了いたします。

(2) 部会の設置について

事務局 部会の設置について説明

議長 部会の中で日程等について調整をお願いするということで本会議の方はこれで閉じさせていただきます。

5 閉会